

ため池むすび魅力めぐり

南西編

四季の癒し

市内一大きい 野多目大池
ゆっくり過ごせる 古野新池
【コース距離：約 5,000m】

山々を望み四季を感じるコース

【コース距離：約 5,300m】

水鳥に聞く大池・史跡コース

【コース距離：約 5,400m】

1 野多目大池

野多目大池は、市内で最大のため池です。野多目大池は、江戸時代に造られた可能性が高く、灌漑用水として利用されてきました。現在はカラ―舗装した歩道があり、水鳥を観察できるなど、住民の憩いの散歩道となっています。

2 平原池・平原新池・平原上池

野多目大池の西側に連なる3つの池です。平原上池の北側にはガマノホがあり、水鳥たちの隠れ家になっています。平原新池の北側はうっそうとした緑が生い茂っています。平原池は、ヨシなどの水草が群生し、水鳥をみることが出来ます。

3 佐谷神社

御祭神は、五穀豊穡の守神である大地主命と道祖神(塞の神)です。社殿は、昭和4年に竹永常吉氏が野多目池町入定寺から入手し、寄贈したものです。桜が覆っている参道には戦中末期の戦況を訴えた石碑があります。

4 上妹池

上妹池は、通称「芋池」と呼ばれています。近年、都市高速道路5号線整備及び福岡外環状道路整備により、池の北側が埋められました。池の周囲には、ハトムギ(じゅず玉)やショウブが自生しています。

5 若久池

若久池は、通称「吉野池」と呼ばれています。池には釣りがあり、ヘラブナ釣りができます。池の北側を都市高速道路5号線及び福岡外環状道路が通っており、南側にヨシやガマの群生があり、西側は竹林、東側はコナラやヤツデなどがみられます。

6 古野新池

古野新池は、通称「新池」と呼ばれています。池の北側には歩道が整備されており、池を見ながら歩けます。池の東側は国立病院機構福岡病院が接しており、桜並木の散歩道や休憩所があります。池ではサギやアヒルなどの水鳥がみられます。

7 国立病院機構福岡病院

大正15年6月福岡市立病院として発足し、昭和46年に福岡厚生園との統合により、国立療養所南福岡病院となり、平成18年4月に独立行政法人国立病院機構福岡病院となりました。病院内は、桜並木などたくさんの木がみられます。

8 箱の池

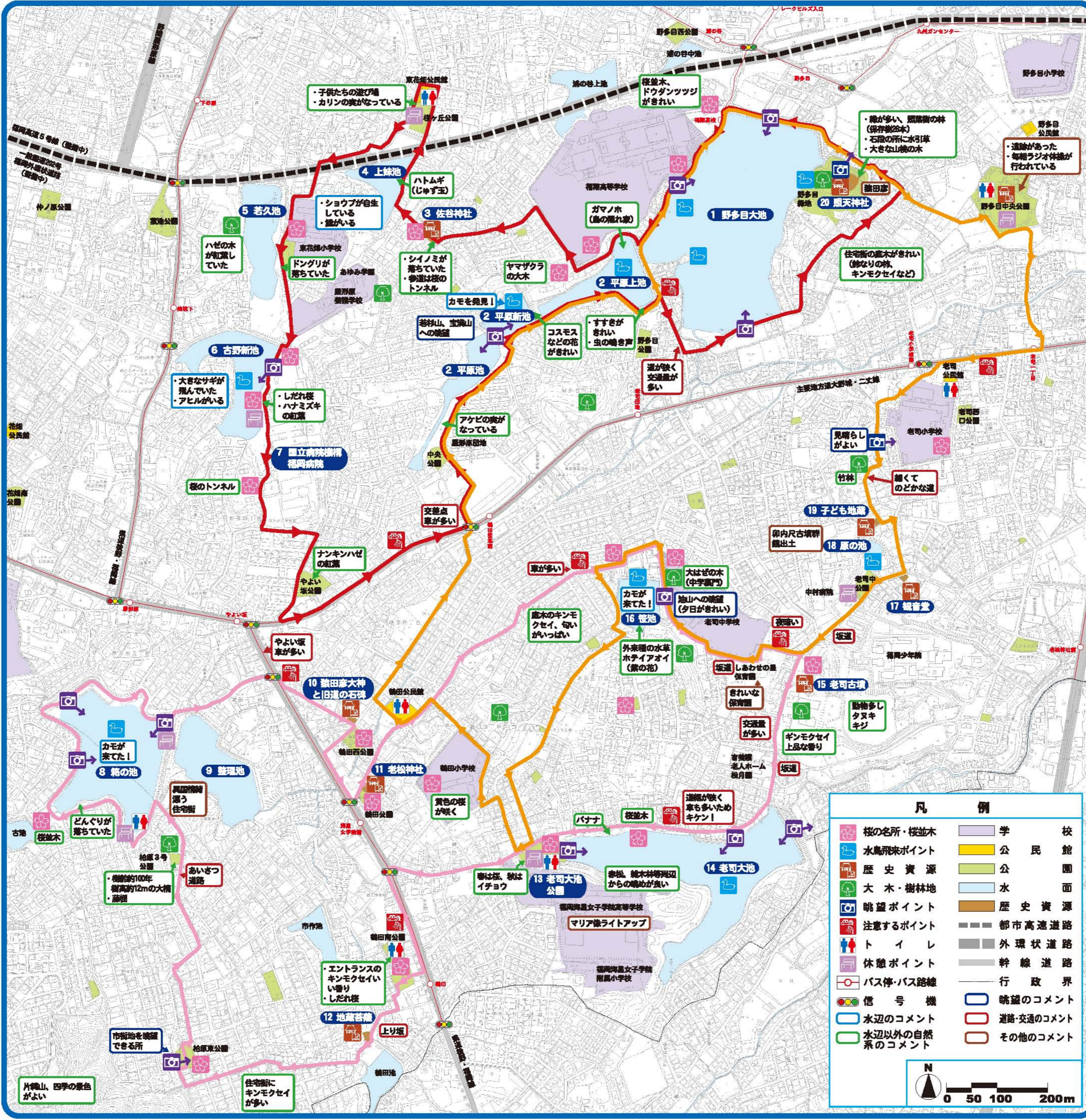
箱の池は、粕原地区と扇形地区の農業用水ですが、昔はこの池の水をめぐって争いが絶えなかったそうです。「親水ため池整備事業」で池の周囲をめぐるウォーキングロードなどが整備され、平成16年4月から住民の憩いの場として利用されています。

9 整理池

整理池は、明治42年に花畑校区ノ原に開拓された通称整理池の灌漑目的で造られたことから、その名がつけられたようです。池の南側には、昔「箱の池古墳」と呼ばれる古墳がありましたが、現在は閑静な住宅街となっています。

10 猿田彦大神

猿田彦大神は、やよい坂を50m下った所に石の道標と一緒にありますが、昭和61年の道路拡幅の時に現在の位置と老松神社の石壇下に移されたようです。「村道更生記念」の石碑と一緒に置かれています。



20 照天神社

御祭神は、日本最初の夫婦の神である伊弉諾大神と伊弉美大神です。本殿には二又大根の根馬が掲げられ、編結びや夫婦合の神として奉られています。野多目大池のほとりに位置し、周囲はこもりとした森に覆われ、深山の雰囲気があります。

19 子ども地蔵

子ども地蔵は、地域の方々が大切にお守りしており、子どもの成長を祈願しているそうです。また、地域の人々の七五三のお参りも行われています。

18 原の池

原の池は、老司公園の奥にあり、道路に面していないため、静かな雰囲気となっています。以前は、この公園部分も池でした。原の池は、小さいながらもカモが棲みついており、公園と一体となった憩いの空間となっています。

17 観音堂

観音様が奉られています。観音様は、治病・防災・招福の仏として県内にも広く分布しています。観音堂では、毎年7月17日に祭りが行われています。敷地内には、猿田彦大神も奉られています。

16 笹池

老司地区は水が乏しかったため、大正時代の初めに岩戸村片郷区から老司大池に水を引くために21間の暗渠を掘り、さらに老司大池から笹池まで87間の暗渠を掘って水をためました。その結果、農地が潤うこととなり、老司の人は片郷に800金を贈り、感謝しました。

15 老司古墳

老司古墳は、5世紀初頭頃の福岡平野の豪族の墓と推定される全長78mの前方後円墳です。後円部に3基、前方部に1基の竪穴式横口式石室があり、10面の鏡の他、多くの副葬品が出土しています。中でも三角縁神鏡は現在、九州国立博物館に展示されています。

14 老司大池

以前の老司大池は、農業用として貴重な水源でしたが、近年は周辺の宅地化により、田畑は減少しています。稲の収穫後、池干しを行い、コイが行われています。池の裏からの眺めは、福岡海星女子学院の松林、マリア像などがあり、一見の価値があります。

13 老司大池公園

老司大池公園は、老司大池西側に位置し、老司大池を一望できます。また、釣りを楽しむ子どもたちもみられます。公園内には、桜やイチョウの木が植えられています。広場では、お年寄りがゲートボールをしたり、子どもたちが遊んだりしています。

12 地藏菩薩

地藏菩薩は、昔から「いぼ地蔵」として有名で、地蔵様の社内に供えられた小石を借りてきて、日夜いぼをさするとたちまち治り、お礼に新しい石を自分の歳の数だけ返すと云い伝えられています。

11 老松神社

御祭神は文藝の神である菅原神と武の神である高良玉垂命です。確かな記録はありませんが、明治27年に扇形原老松神社から分神を受けて、現在地の南7~80mの高台に奉祀されていたそうです。その後、昭和8年に現在地に移設し、昭和62年9月に社殿を新築しています。